

事業報告書

(課題解決特別事業)

申請団体名：和田地区まちづくり推進委員会

〔令和7年度採択分〕

令和7年度浜田市まちづくり総合交付金 課題解決特別事業 事業報告書

事業名

空き家を活用した「しゃべり場」づくり

事業費（予算額）： 1,163,600 円（まちづくり総合交付金課題解決特別事業：1,000,000 円）

P

事業の目的（解決を目指す課題）や見込まれる成果

地域資源の空き家を活用し、この地域で暮らす子供からお年寄りまで、誰もが「気軽に話がで
きる場」「情報収集の場」を提供し、住民同士の「顔が見える」状態をつくる。また農村 RMO 推進
事業で取り組んできた、空き家活用の運営や地域課題解決の活動拠点をつくる。

D

事業の概要

〔交流の場〕

- 各種打合せをしたり、趣味を通じた人同士が繋がる場。
- 作業の合間など、住民が気軽に立ち寄れる無料休憩所。

〔情報発信の場〕

- 和田まちづくりセンターの情報発信の場として、他のまちづくりセンターや浜田市、島根県
内のイベントなどの情報を発信。

〔地域課題解決拠点〕

- 同店舗や空き家を利用した田舎体験の運営やにんにく事業の活動拠点。

C

課題の解決度合（10段階の自己評価）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

							○		
--	--	--	--	--	--	--	---	--	--

・上記評価の理由

開店が遅れ、イベント開催も遅れているが、開設できたことは非常に大きい一歩だった。特に実際に利用した方々の意識の変化が大きいと感じた。より多くの方の利用促進策が必要。

A

事業の継続、発展に向けて今後取り組むこと（評価を10に近づけるために）

- 面白そうなミニ教室やセミナーを毎月開催し、幅広い方にまずは来てもらう。
- 夏場の熱中症対策のクールスポットとして利用してもらう。
- 空き家などの相談窓口や様々な事務ができる場をつくり、出入りする人や機会を増やす。

